

# SAチルトデスク BHD-1200SAC

## 取扱説明書

※小さなお子様のご使用になる場合は※  
保護者の方が当取扱説明書をよくお読みになり、使用中はお子様につき添ってください。

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品をご使用の際は必ず本書をお読みいただき、ご理解の上、正しくご使用ください。また、お読みいただいた後も、この説明書は大切に保管してください。お買い上げ日、または商品到着日から7日間以内に不具合が無いかをご確認くださいますようお願いいたします。該当期間を過ぎた場合は、製品保証の対象外となる場合もございますので、あらかじめご了承ください。本製品はデスクとして使用されることを目的としています。それ以外の目的で使用しないでください。

### FOR USE IN JAPAN ONLY

使用者は、必ずこの取扱説明書の内容を理解してからご使用下さい。  
Read this instruction manual and make sure you thoroughly understand its contents before using this product.

## 品質表示

|        |   |
|--------|---|
| 型番     | BHD-1200SAC                                       |
| 寸法     | 幅 120 cm x 奥行 60 cm x 高さ 68 cm (68~107 cm)        |
| 甲板の表面材 | 合成樹脂化粧繊維板 (塩化ビニル樹脂)                               |
| 表面加工   | フレーム：エポキシ粉体塗装                                     |
| 材 料    | フレーム：スチール<br>チルトレバー、接続ポール：アルミニウム                  |
| 原産国    | 中国  |
| 耐荷重    | 天板をフラット (水平) の場合：80 kg<br>天板をチルト (角度調整) の場合：40 kg |



## 警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。

- ガスが充填されている部品を傷つけたり、破損したりするような衝撃を与えないでください。
- ガスが充填されている部品を火気の中への投入、直射日光が当たる場所や高温になる場所に長時間放置しないでください。
- ガスが充填されている部品が使用されています。火気や暖房器具などの熱源の近くに置かないでください。



## 注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

### ⚠ 組み立てのご注意

- 組み立てる前に、必ず各部品に不具合がないかご確認ください。
- 組み立ては2人以上で行ってください。
- 組み立ては平らで周囲に何も無い広い場所で行ってください。
- けがや汚れを避けるため、必ず手袋を着用して組み立てを行ってください。
- 組み立て時は製品の下に毛布を敷くなど、床や壁、他の家具などを傷つけないように十分にご注意ください。
- 開梱時、製品に使用されている塗料・接着剤等の臭いがこもっていることがあります。時間と共に臭いは減少しますが、臭いに過敏な方、化学物質に対するアレルギーのある方は、定期的に換気をするなどして組み立ててください。
- ネジ・ボルトの取り付け前に、ネジ・ボルト穴の異物をきれいに取り除いてください。
- ネジ・ボルトは最初からきつく締めないでください。まず全てのネジ・ボルトを仮締めし、正しく組み合わさったことを確認してから、最後にしっかりと固定してください。
- 製品の使用前に、各部品がしっかりと固定されていることをご確認ください。

### ⚠ 使用上のご注意

- 本製品は室内用です。屋外では使用しないでください。
- 直射日光や暖房器具の熱が直接あたる場所、高温多湿な場所での使用は避けてください。劣化や色あせなどの原因となります。
- 製品を傾斜した床面や強度不十分な場所に設置はしないでください。転倒してけがをする恐れがあります。
- 火気や暖房器具の近くに置かないでください。火事・やけどの原因になる可能性があります。
- 本製品のいずれかの部品にひび、破損などの異常が生じた場合はすぐに使用を中止してください。けがをする恐れがあります。
- 製品の上に立ち上がったり、踏み台代わりに使用しないでください。転倒してけがをする恐れがあります。
- 天板の上に、加熱した鍋や湯沸かし、熱い湯呑などを直接置かないでください。熱いものを置く際は、必ずコースター等をご使用ください。
- 濡れたものを載せないでください。劣化や破損の原因となることがあります。
- 耐荷重以上の荷重は載せないでください。転倒や破損の恐れがあります。
- 天板を昇降させる、または可動部を動かす際は、手や指を挟まないように十分注意してください。けがをする恐れがあります。
- 天板の上にパソコンや荷物などを置いた状態で天板を昇降、または傾斜させないでください。転倒や落下物でけがをする恐れがあります。
- 製品特性上、昇降部分といった可動箇所は傷等が発生する恐れがあります。予めご了承ください。
- 長時間同じ場所で使用すると、接地面が変形・変色する場合があります。必要に応じて保護シート等をご使用ください。

## ■ ホルムアルデヒドについて

### ● ホルムアルデヒドとは

シックハウス症候群を引き起こす原因物質の一つといわれています。常温で気化し、無色で刺激臭があるのが特徴です。主に家具や建材に使用される塗料や接着剤に含まれており、常温で気化するというその性質上、徐々に室内に放散され滞留します。

ホルムアルデヒドに汚染された室内に長時間滞在すると、目・鼻・喉への刺激や、咳やくしゃみといったアレルギー症状が現れることがあります。また、室内に滞留しているホルムアルデヒドの濃度が高い場合は、呼吸困難等の重篤な症状を引き起こす恐れがあります。

### ● 家具を設置する室内の換気について

アレルギー症状を発生しにくくするために、下記に記載する定期的な室内の換気を行ってください。

- ・製品の開梱及び組み立ては、風通しの良い十分換気できる部屋で行う。
- ・初めて使用になる前に、製品を設置した部屋の換気を十分に行う。
- ・製品を設置してからも、部屋を長時間締め切ったままにせず、こまめに部屋の換気を行う。

### ● 化学物質に敏感な体質のお客様へ

ホルムアルデヒドをはじめとする化学物質の許容量には個人差があります。したがって、室内に滞留しているホルムアルデヒドの濃度が、健康上望ましいとされる濃度値以下の濃度であってもアレルギー症状が現れる可能性があります。

可能な限りホルムアルデヒドの放散が少ない材料を使用しておりますが、全く放散されないわけでありませんので、予めご注意ください。

### ● アレルギー症状が疑われる場合

何らかのアレルギー症状が起きた際は、すみやかに医師にご相談されることをおすすめします。

## ■ メンテナンス・廃棄方法

- 定期的にパーツに破損がないか、各部がしっかり固定されているか、製品全体を点検してください。緩みがある場合は、しっかりと固定し直してください。
- 汚れを拭き取る際は、柔らかい布で乾拭きしてください。取れにくい汚れの場合は薄めた中性洗剤で拭き取り後、水拭きしてから再度乾拭きしてください。
- 本製品を廃棄の際は、各地方自治体の廃棄区分に従って廃棄してください。
- アルコール、ベンジン、磨き粉などは使用しないでください。

## ■ 組立前にお読みください



確実な組み立てのため、ネジ・ボルトを取り付ける際はまず手で回して取り付けてください。ネジ穴に正しいネジ・ボルトが真っ直ぐ入ったことを確認し、全ての部品を組み合わせてから最後にドライバー・レンチでしっかりと増し締めしてください。

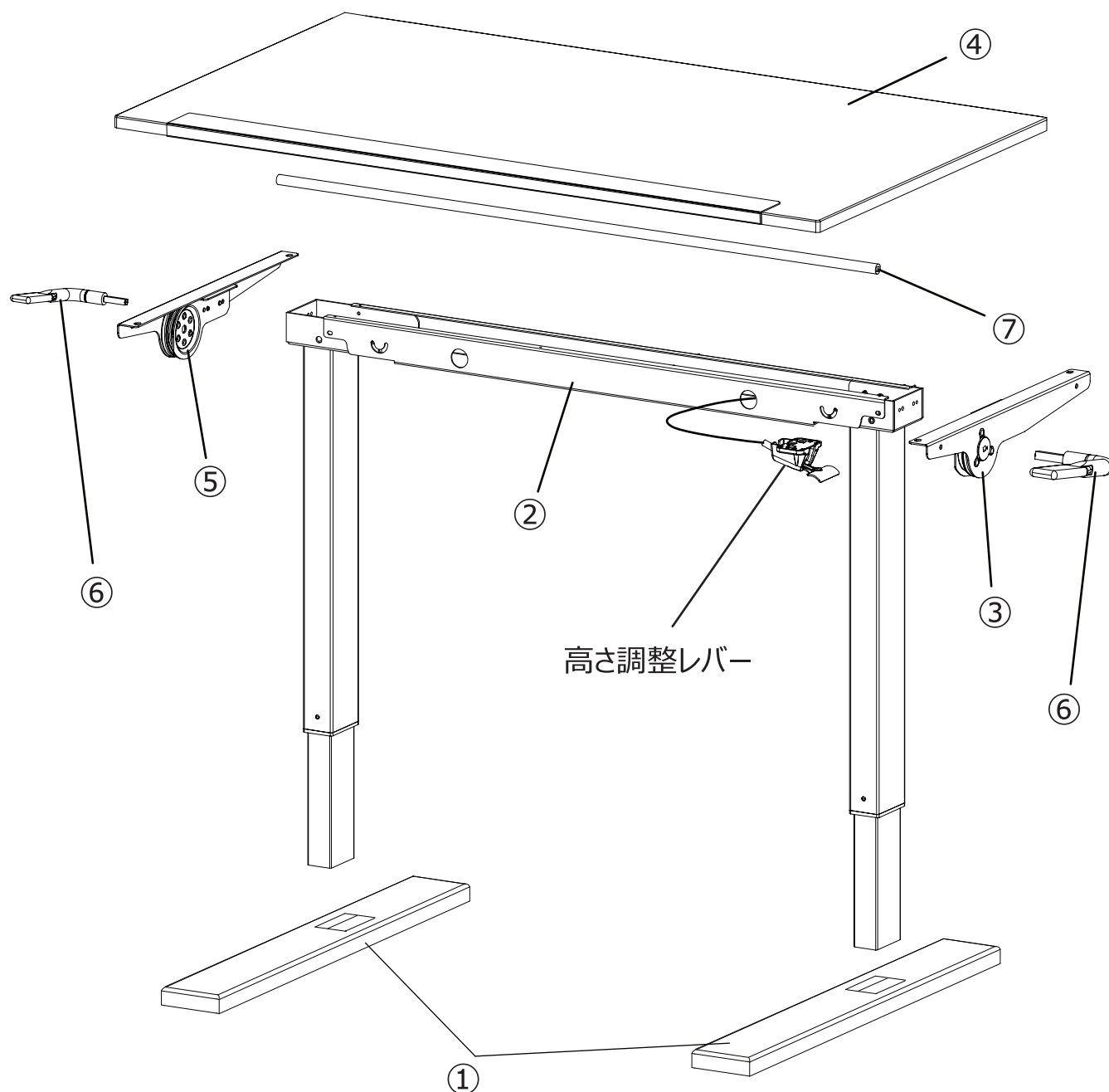
最初にきつくネジ・ボルトを締めてしまうと、後から組み立てる部品においてネジ・ボルトとネジ穴位置が合わなくなることがあります。

無理な力で斜めにねじ込むとネジ穴がつぶれネジ・ボルトが入らなくなります。

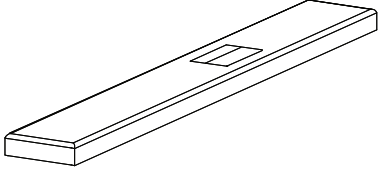
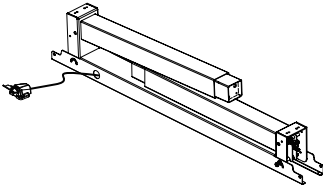
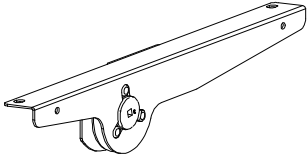
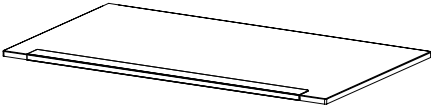
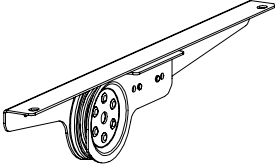


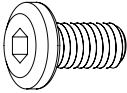
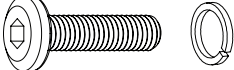
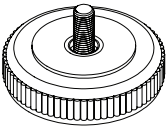
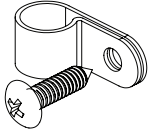
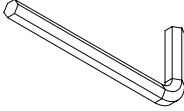
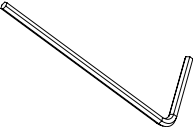
また、誤ったネジ・ボルトを使用すると製品が破損する場合があります。

※誤った組立方法にて製品が破損した場合は、製品保証の対象外となりますのでご注意ください。

## ■ 部品全体図

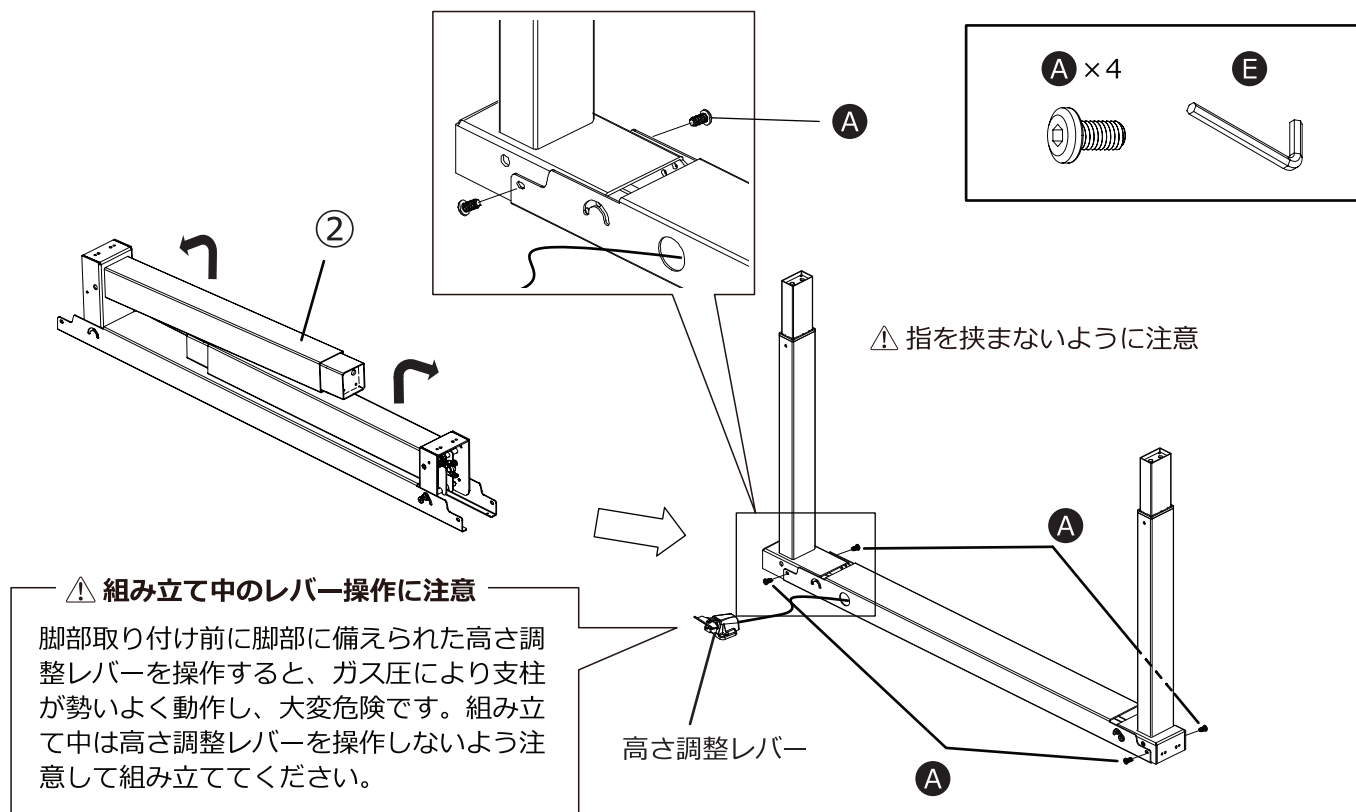


■ 部品・付属品

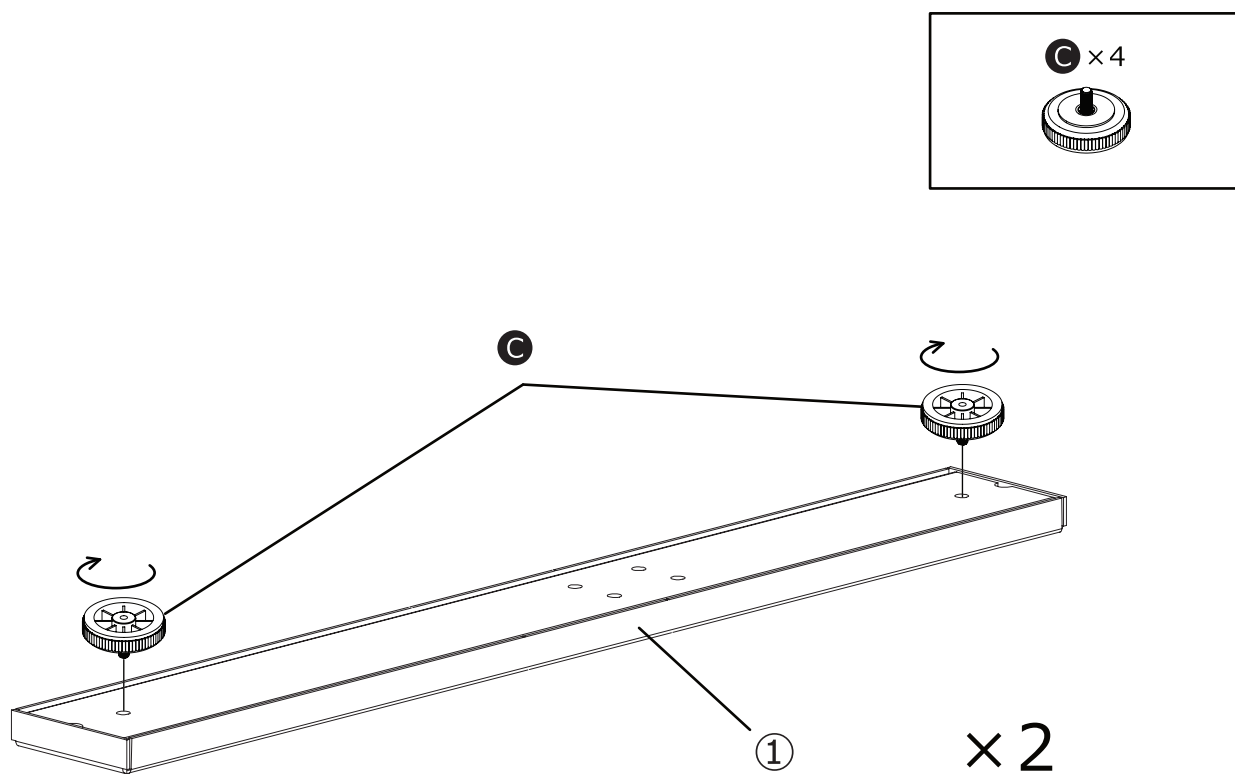
|   |               |  |                |   |                |
|---|---------------|--|----------------|---|----------------|
| ①   | 底部            | ②  | 脚部             | ③   | 天板支持部(右)       |
| <br>×2   |               | <br>×1    |                | <br>×1   |                |
| ④   | 天板<br>※別梱包品です | ⑤  | 天板支持部(左)       | ⑥   | チルトレバー         |
| <br>×1   |               | <br>×1    |                | <br>×2   |                |
| ⑦   | 接続ポール         | A  | ボルト(短)         | B   | ボルト(長) + ワッシャー |
| <br>×1 |               | <br>×18 |                | <br>×8 |                |
| C   | アジャスター        | D  | ケーブルクリップ + 木ネジ | E   | 六角レンチ(大)       |
| <br>×4 |               | <br>×1  |                | <br>×1 |                |
| F   | 六角レンチ(小)      |  |                |   |                |
| <br>×1 |               |  |                |   |                |

## ■ 組み立て手順

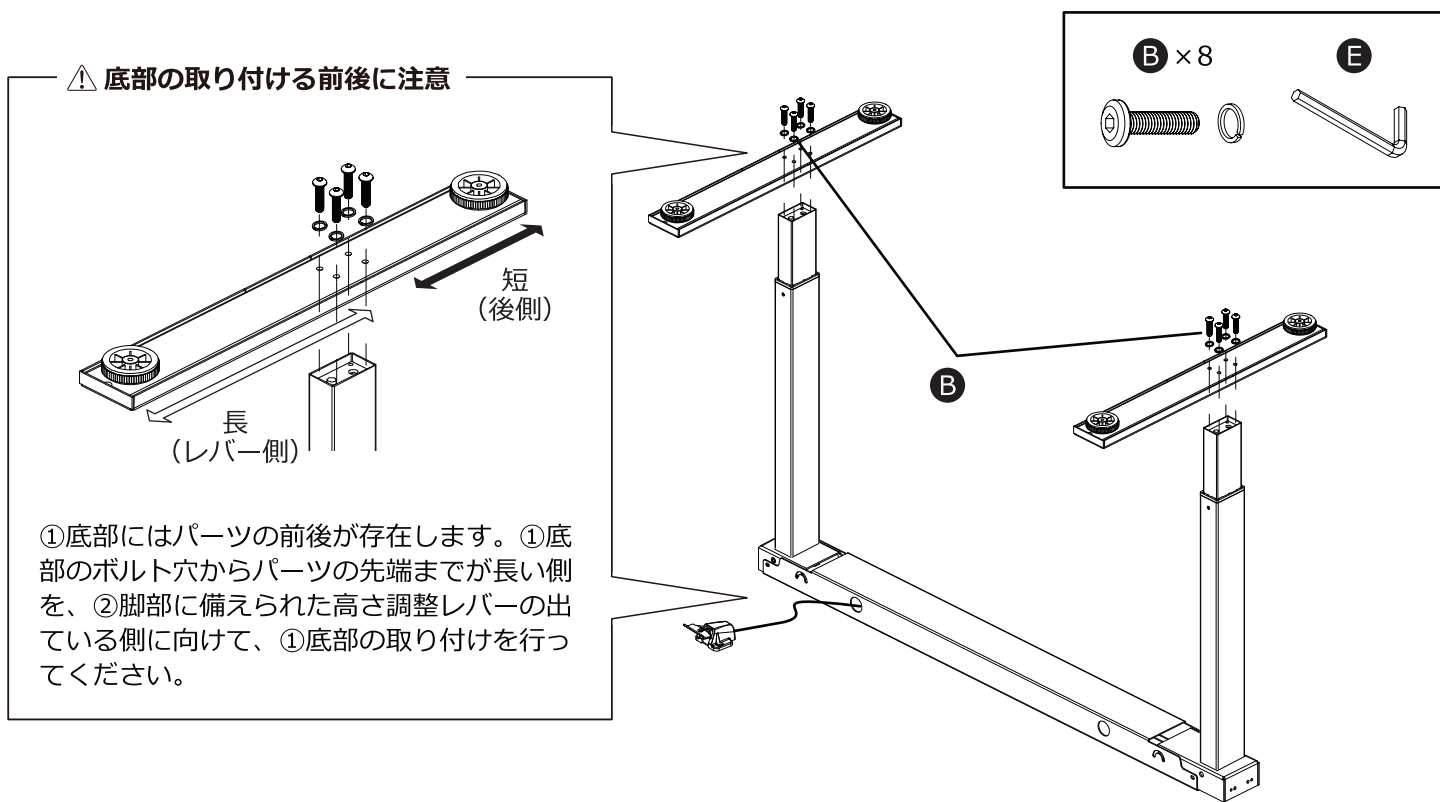
- 1 折りたたまれている②脚部を開き、**A** ボルト(短)で固定します。



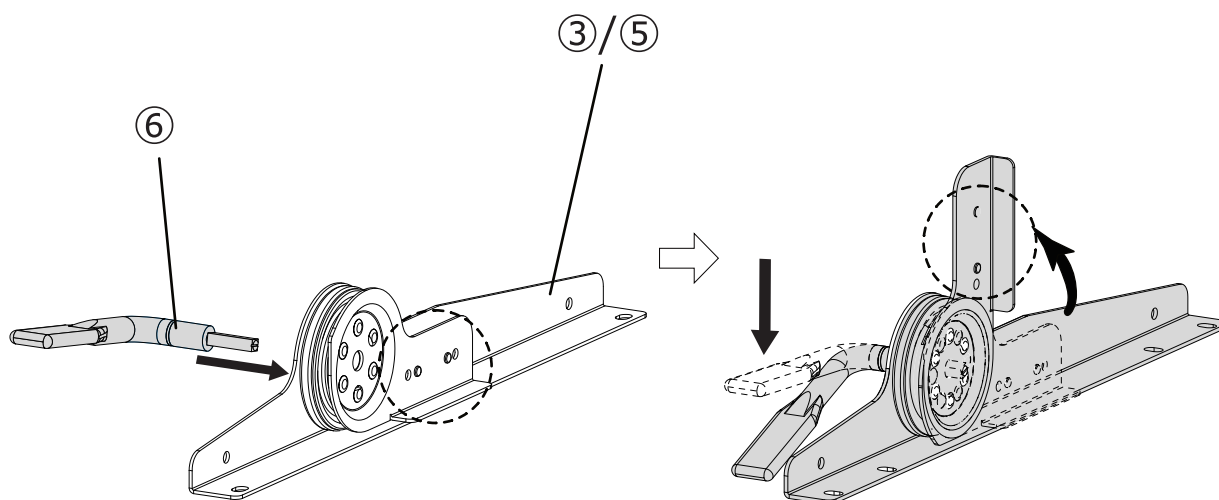
- 2 ①底部に**C**アジャスターを取り付けます。



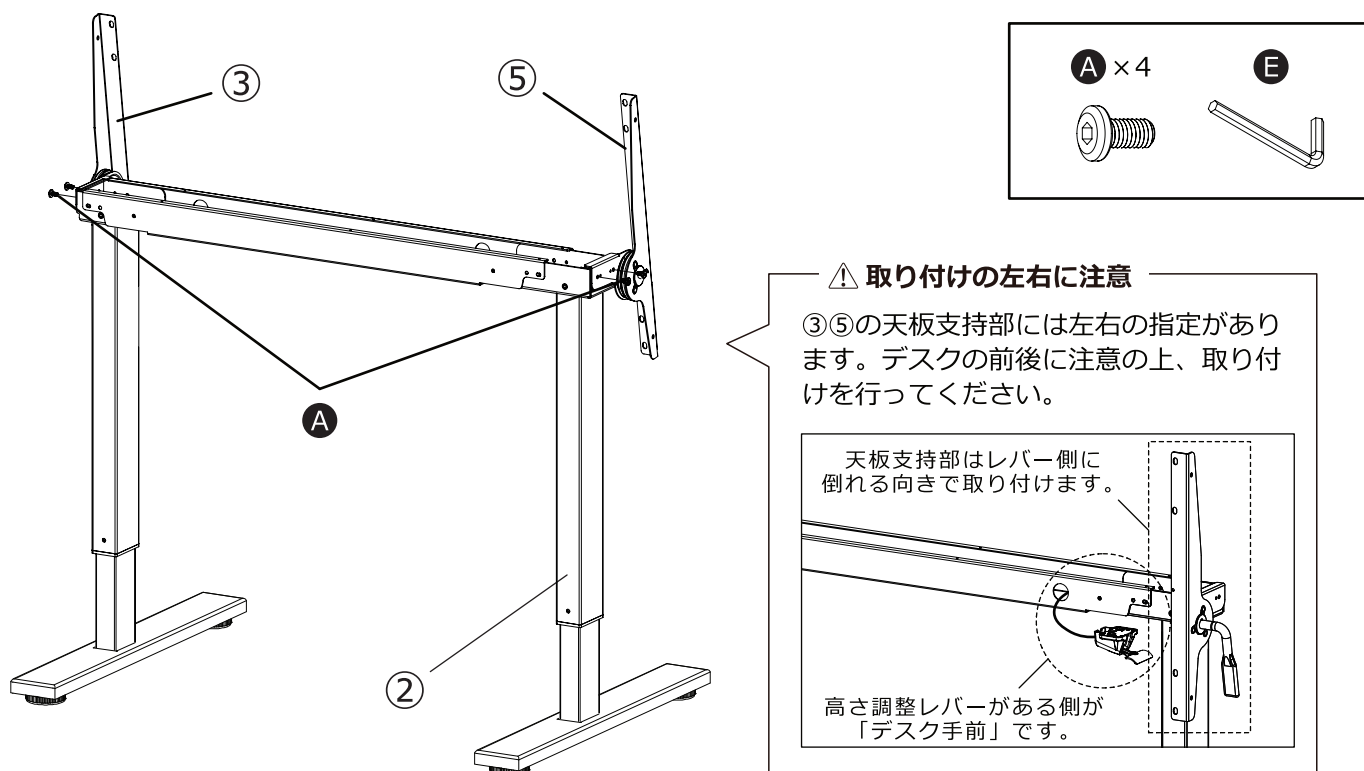
3 ②脚部に 2 で組み立てた①底部を B ボルト(長) + ワッシャーで取り付けます。



4 ③天板支持部(右)を②脚部に取り付けるボルト穴が隠れているため、取り付け準備を行います。下図のように⑥チルトレバーを差し込み、引き下げながら取り付け部を引き起こしてください。⑤天板支持部(左)も同様に操作を行います。操作後、⑥チルトレバーは一旦取り外します。

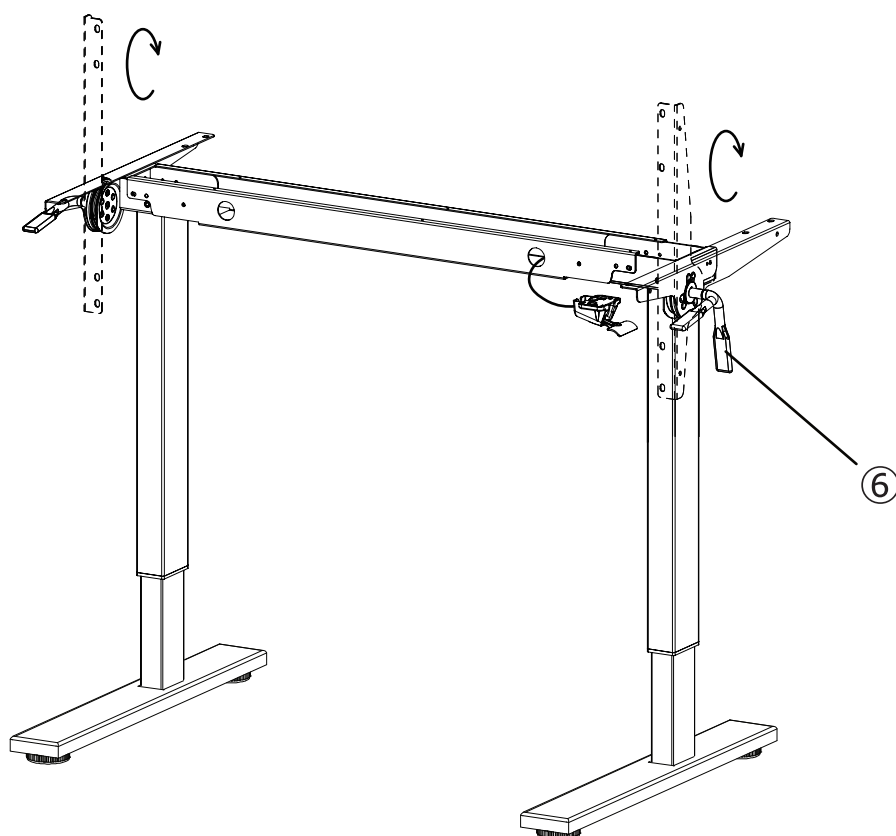


5 4で操作した③⑤の天板支持部を②脚部にAボルト(短)で取り付けます。



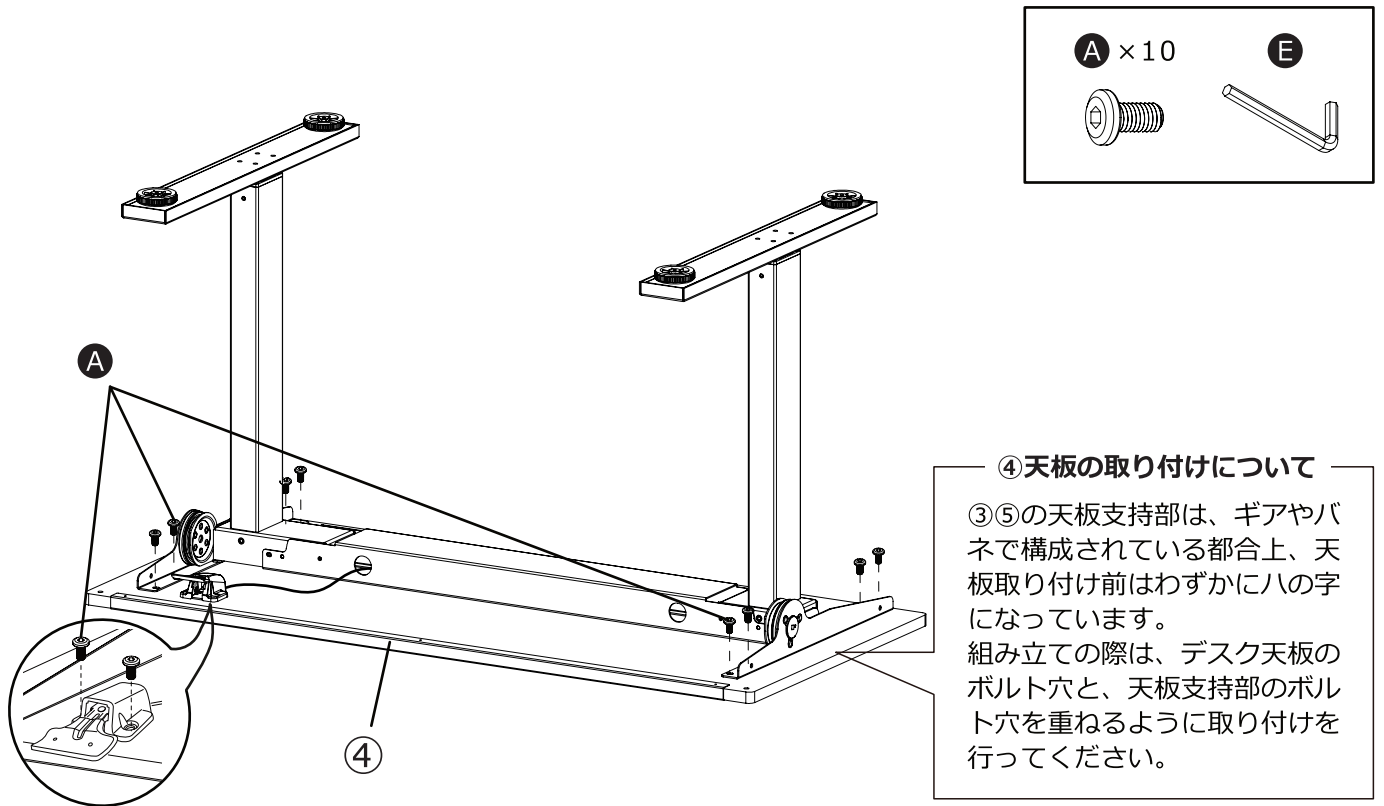
※製品を後側から見た図

6 ④天板を取り付ける準備をするため③⑤の天板支持部を⑥チルトレバーを取り付け、操作します。操作後、⑥チルトレバーは一旦取り外します。

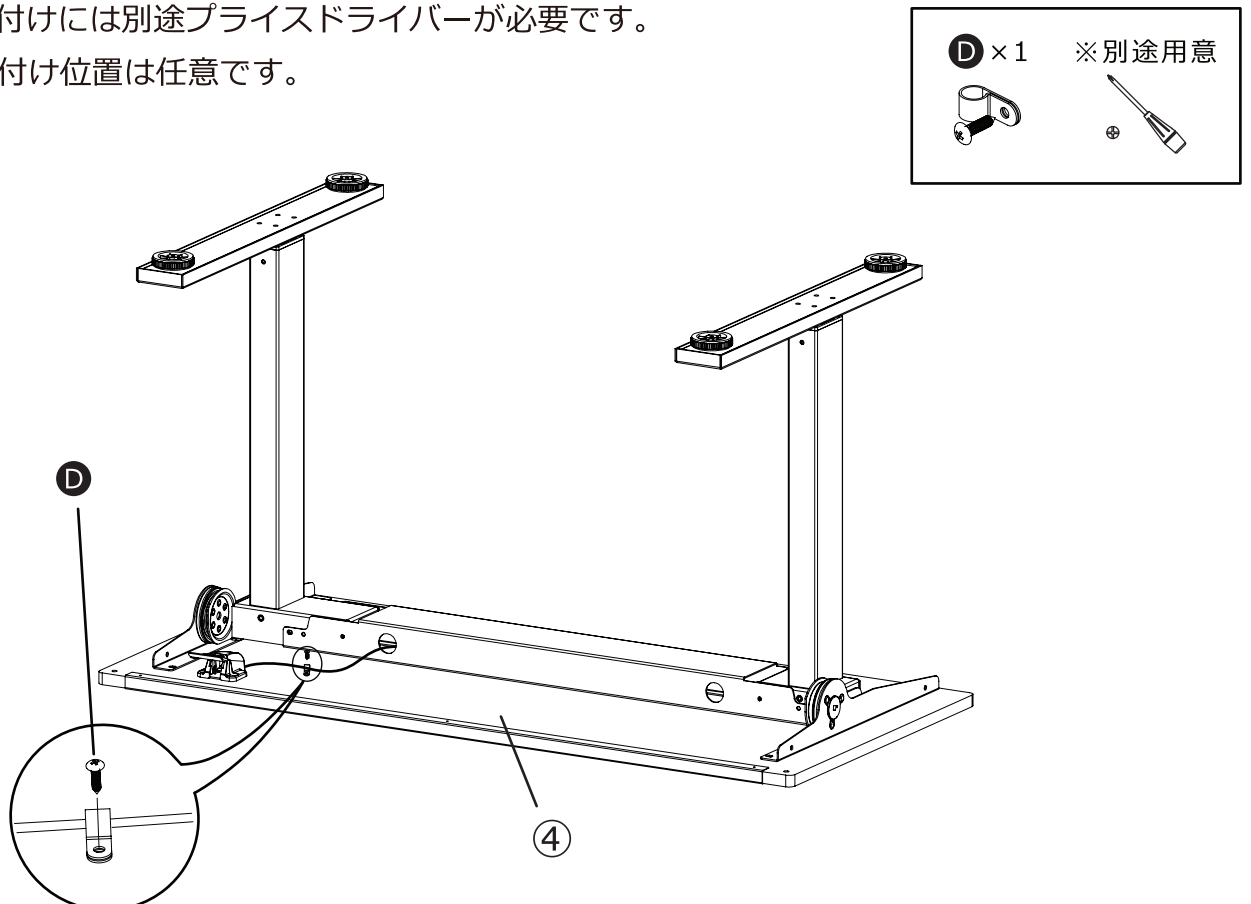




- 7 逆さまにした④天板の上に、6 で操作した②脚部をひっくり返し、  
④天板と③⑤天板支持部と高さ調整レバーをA ボルト(短)で取り付けます。

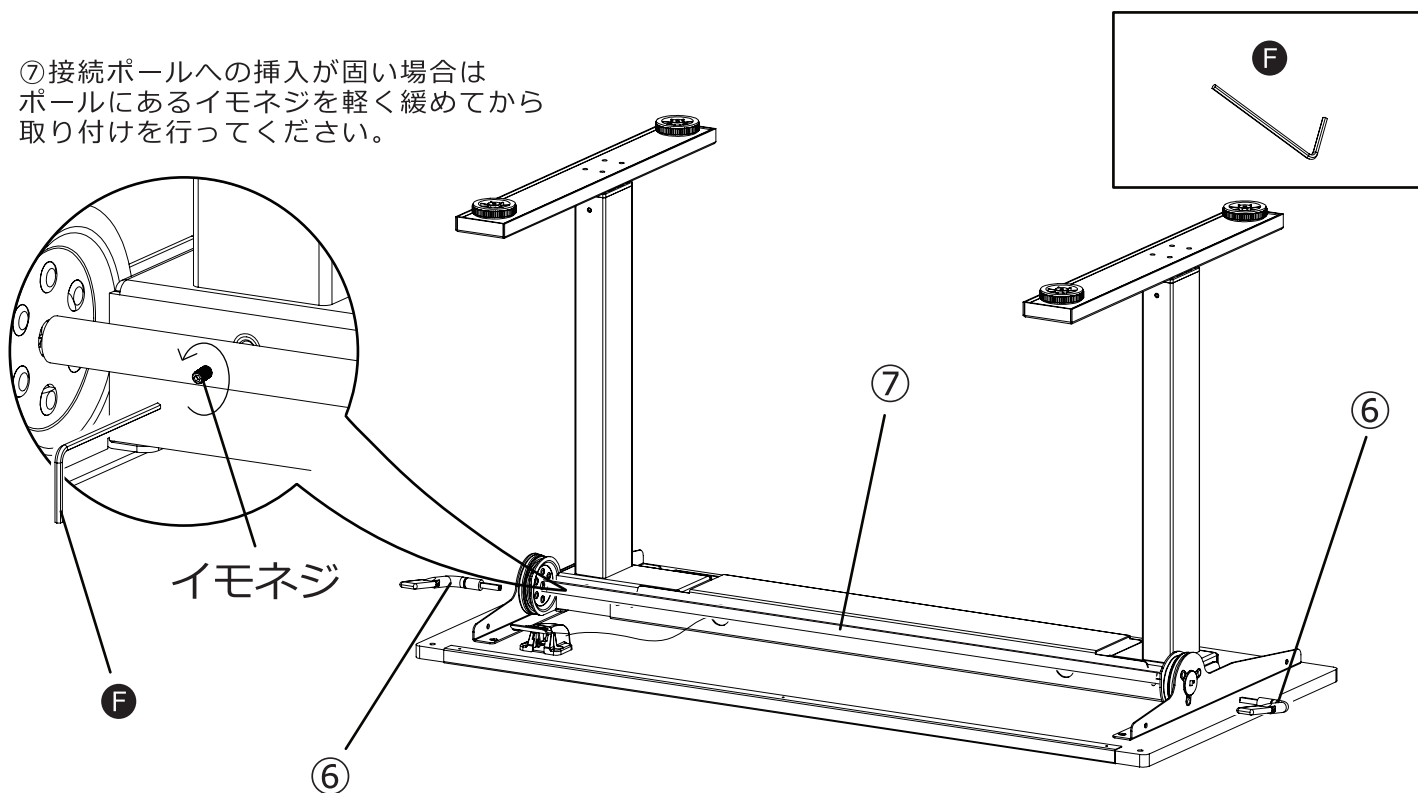


- 8 Dケーブルクリップ + 木ネジで、高さ調整レバーのケーブルを④天板の裏に固定します。  
※取り付けには別途プライスドライバーが必要です。  
※取り付け位置は任意です。

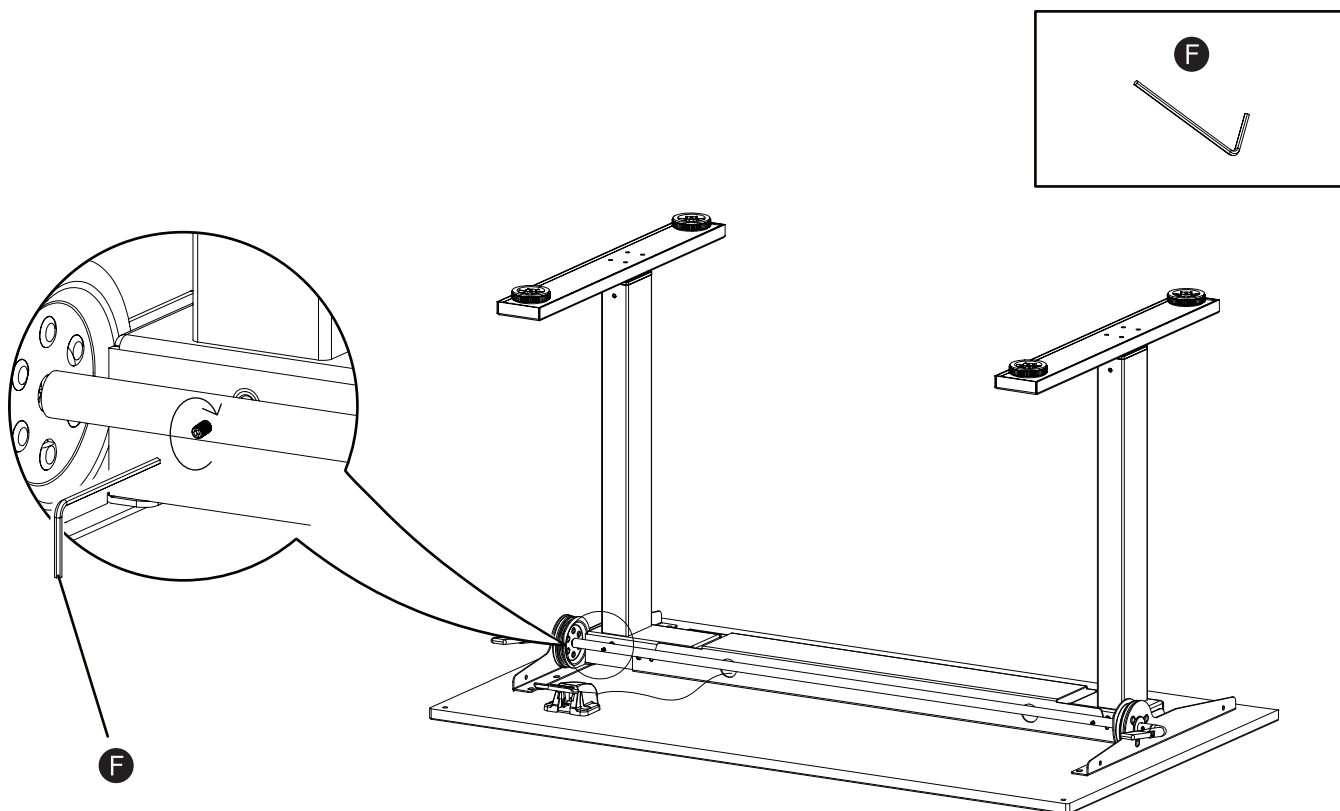


9 ③⑤の天板支持部に⑥チルトレバーを、⑦接続ポールを挟み込みながら取り付けます

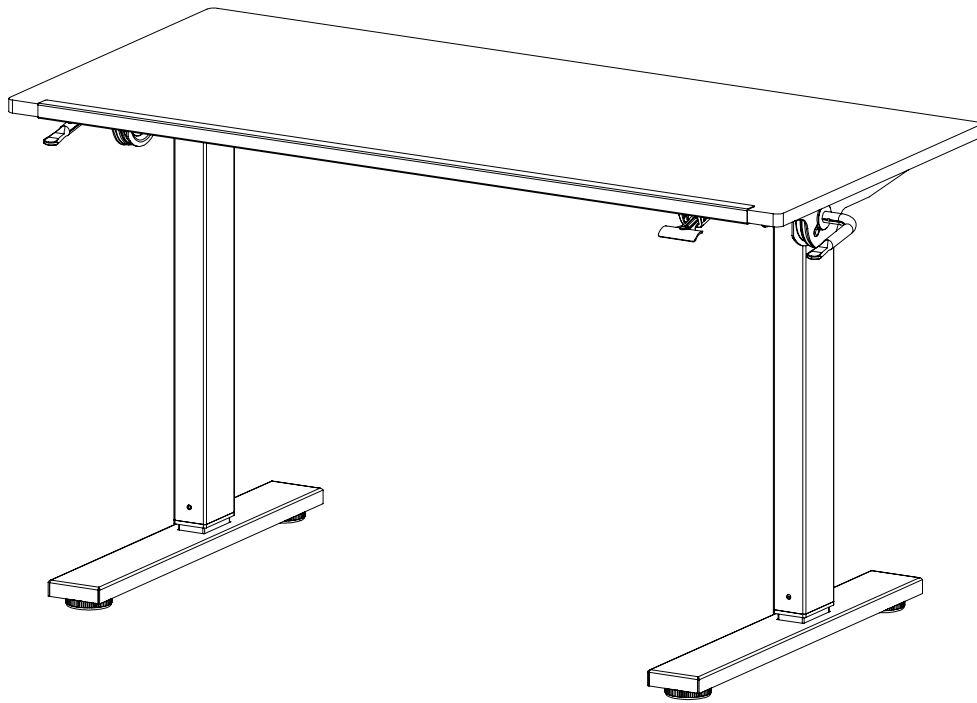
⑦接続ポールへの挿入が固い場合は  
ポールにあるイモネジを軽く緩めてから  
取り付けを行ってください。



10 ⑥チルトレバーの挿入が完了したら、⑦接続ポールのイモネジを締め、レバーを固定します。



- 11 デスクを起こして完成です。  
使用前に各部のネジ・ボルトがしっかりと固定されているか、十分に確認してください。



## 機能説明

### ⚠ 使用にあたっての注意

天板の上に荷物を置いた状態で天板を昇降、あるいは角度の調整をしないでください。  
転倒や落下物でけがをする恐れがあります。

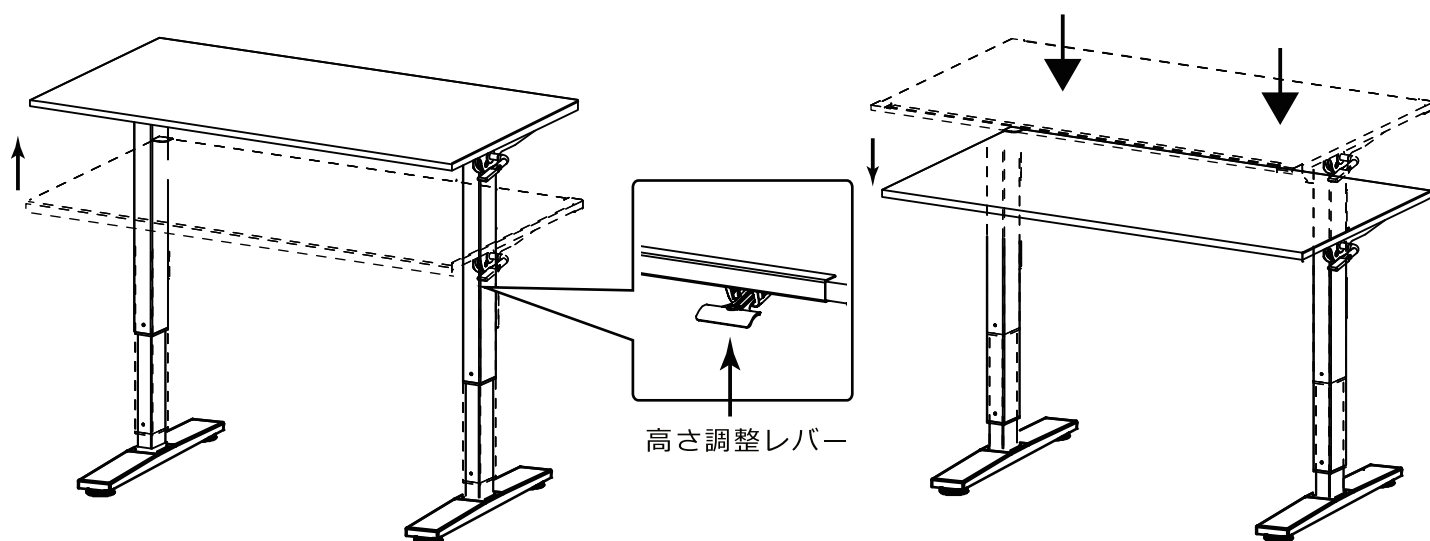
### ■ 高さの調整方法

天板の高さ調整は、高さ調整レバーを操作して行います。

上げるとき：高さ調整レバーを上へ引くとブレーキロックが解除され天板が上がります。

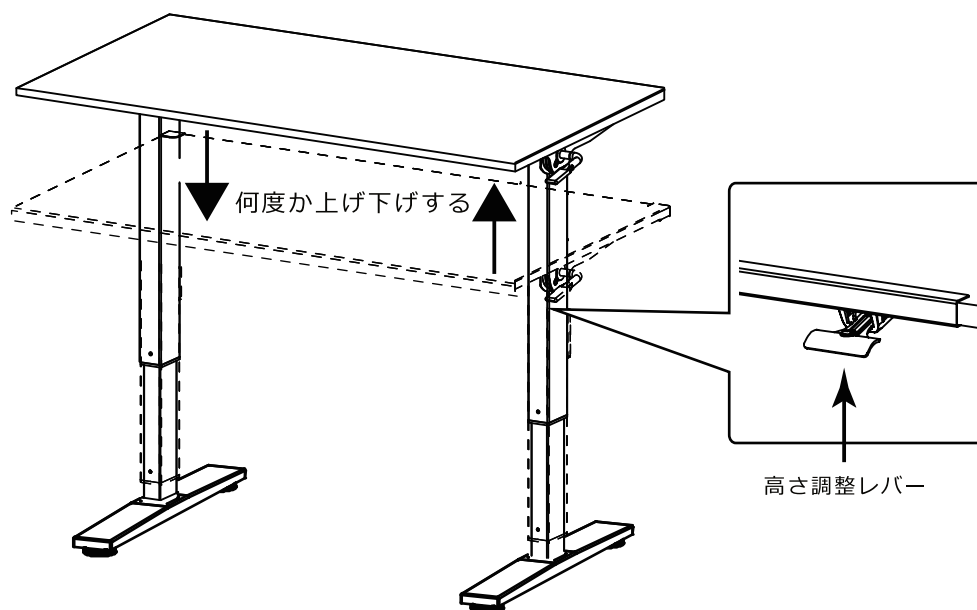
勢いよく上がる場合があるので、操作するときは天板を手で抑えながら行ってください。

下げるとき：高さ調整レバーを引き上げ、**天板にゆっくりと荷重をかけながら**押し下げてください。



### 初めてご使用になる前に

購入後すぐは、脚部の昇降が固くなっている場合があります。  
何度か上下昇降の操作を行ってから使用を始めてください。



## ■ 角度の調整方法

天板の角度調整は、デスクの両サイドにあるチルトレバーを操作して行います。

※左右のチルトレバーは接続ポールにて接続されているため、同時に動作します。

チルトレバーを操作する際は、左右いずれか、もしくは両方のレバーを操作してください。

チルトレバーを上へ引くとブレーキロックが解除され、天板の角度調整が可能になります。  
調整したい角度に設定したらレバーを離します。ロックがかかり、天板の角度が固定されます。

※天板角度を調整して使用する際、天板上の積載物の滑りが気になる場合は、  
市販の滑り止めマットを併用するなどしてご使用ください。

